



平野「銀」



スノーボード男子ハーフパイプで銀メダルを獲得し、セレモニーで歓声に応える平野歩夢＝平昌（共同）

スノボ男子HP



19歳、2大会連続

95.25点の高得点

【平昌共同】平昌冬季五輪第6日の14日、スノーボードの男子ハーフパイプ（HP）決勝で、平野歩夢（19）＝木下グループ＝が前回のソチ五輪に続いて銀メダルを獲得した。2回目に

95.25点の高得点をマークした。今大会、日本選手のメダルは4個目。片山来夢（22）＝バートン＝は7位。戸塚優斗（16）＝ヨネックス＝は2回目でエアの着地に失敗して棄権

し、11位。トリノ、バンクーバー五輪金メダルのショーン・ホワイト（米国）が2大会ぶり3度目の金メダル。平野は小学生の時に南会津町の会津高原南郷スキー場で練習を重ねた。

エースの存在感



男子ハーフパイプ決勝 平野歩夢のエア=平昌 (共同)



男子ハーフパイプ決勝 平野歩夢のエア=平昌 (共同)



男子ハーフパイプ決勝 エアを決める平野歩夢=平昌 (共同)